

育てよう

# 鏡野のよい子シリーズ



「地域とともに」

令和三年四月に鶴喜小学校に校長として赴任し、もうすぐ二年になります。この二年間、たくさんの地域の皆様にお力を貸していただき、地域の有り難さを実感しています。学校の中では、タブレットPCの全児童への配付・活用という大きな変化がありました。地域との関わりについても、今年度大きな変化がありました。

今年度から、鶴喜小学校は、学校評議員制度から学校運営協議会制度へ移行し、いわゆる「コミュニティスクール」となりました。「コミュニティスクール」とは、学校と保護者や地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える、「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みです。文部科学省が全国で設置を進めており、鏡野町内でも今後設置校が増えていきます。鶴喜小学校は、今年度からコミュニティスクールの指定を受け、学校運営協議会に地域から多数の方にご参加いただき、学校経営についてご意見を賜り、試行錯誤しながら取り組んでいるところです。地域との関わりは昨年度までと同様に、子どもたちのために、毎日多くのことにご協力いただいています。

ててくださいました。学校裏の里山を利用した三年生の椎茸の駒打ちや、四年生の山菜学習、五年生の森林学習にもご協力いただきました。

秋には、三年生が中谷茶の番茶作りをしました。中谷地区の茶畑に行き、地域の方から茶摘みや摘んだ後の処理の仕方を教えていただきながら茶摘みをしました。茶摘みをした茶葉は、学校の裏で乾燥させ、約一か月後、茶葉をほさみで細かく切ってから、大きな釜で茶葉を煎りました。子どもたちは、煙が目が痛いと言いながら、一生懸命茶葉を煎りました。苦勞の甲斐もあって、おいしい番茶ができました。できたてでいい香りのする番茶を飲む子どもたちは、とてもいい表情をしていました。

この他にも、登校の見守りやあいさつ運動、本の読み聞かせ、里山の整備、冬季の除雪など、たくさんの地域の皆様や、子どもたちのためにと協力をしてくださっています。

新型コロナウイルス感染症のため、地域の皆様と以前のような交流ができません。学校にお力をお借りしながら、鶴喜小学校の学校目標「夢をもち、たくましく生きる子の育成」を目指して、地域の宝である子どもたちがよりよい方向へ進んでいくことができるように、教職員一同力を合わせてがんばっていききたいと思います。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

鶴喜小学校 校長 岸本 充弘

## のびのびひろば

### 子どもの心と身体をはぐくむために ～親子で心地良い眠りへ～



すくすく  
大きくなってね♡



睡眠は、子どもの健やかな心と体の成長にとって大切な役割を担っています。

町内の保育園・こども園では、園での睡眠環境を工夫したり、休み中は、にこにこ表を活用して生活リズムが整えられるよう、家庭と連携を取ったりしています。

前日に寝る時間が遅くなっても、起きる時間は変えないことがポイントです！早寝からではなく、早起きから始めていきましょう。

【早起きを習慣づけるために】

- 好きな遊びなど、朝に楽しいことをもってくる
- 朝日を浴びると体内時計にスイッチON！
- 朝食にタンパク質をとって胃腸を動かす  
～根気強く続けていきましょう～



- めるめのお風呂に入り、リラックスをする。
- 着替え、歯磨き、排泄の順番を一定に。
- 眠れなくても布団に入る時間は同じにしましょう。
- 『おやすみなさい』のあいさつをする。
- いつものアイテムを。(人形・タオルなど)
- 絵本の読み聞かせをする。
- 子守唄を歌う。
- ※タブレットやスマホなどのブルーライトは大敵です！

戸寝前におすすめの絵本戸



「おやすみクマタくん」  
福音館書店



「おやすみなさいコッコさん」  
福音館書店

入眠儀式の色々☆  
ご家庭にあった方法を♡

(奥津保育園)

《1日の睡眠の目安》 ※お昼寝を含む

- ◎0～2歳児 約12～14時間
- ◎3歳児 約12時間
- ◎4～5歳児 約10時間

